

令和4年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	港区立虎ノ門高齢者在宅サービスセンター														
指定管理者	医療法人財団百葉の会														
指定期間	令和	4	年	4	月	1	日	～	令和	9	年	3	月	31	日
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	－								
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課														

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	15	15		6	1	5	3	24
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	4							

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考
延利用者数（人）	9,318					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	149,517,264	0	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	45,858,503					
	利用料金収入	97,995,311					
	その他収入	5,663,450					介護職員処遇改善金等
	その他収入	348,569					その他収入
	支出	133,578,844	0	0	0	0	
	職員人件費	85,598,659					
	光熱水費	4,921,859					
	修繕費	3,049,250					
	事業運営費	24,346,702					
	施設管理経費	8,071,565					
	その他経費	7,590,809					
	差引収支額	15,938,420	0	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		49,702,101					

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点						84 / 100

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
 ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	昨年度は、新型コロナウイルスの影響の中、職員の協力で安定した稼働を継続することができました。職員同士が思いやり、助け合いながら良い関係作りができたと思います。また、中途採用職員への研修の受け入れや他施設への支援にも継続して協力できたことは職員のおかげだと感謝しています。第7波でコロナ感染者が出てしまいましたが、クラスターを防ぐことができたのは一人ひとりの感染対策ができた賜物だと思います。コロナ禍でボランティアを受け入れできない中、職員が日々工夫してレクリエーションに取り組み、また、オンラインでのボランティア交流や対面できないボランティアともつながりを絶やすことなく継続しています。
区（施設所管課）による評価	基準以上の手厚い職員配置や、日々のレクリエーション等の工夫の結果、本施設は1年間を通じて安定した稼働率の維持ができていました。次年度以降も更なる稼働率の向上に向けた取り組みを行ってください。 職員配置については、施設長や職員の年度内異動が見受けられたため、事業者自己評価とは異なる評価としました。

6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
 A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
 B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
 C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）